

令和4年度 第1回 天王寺区政会議

日 時：令和4年8月29日（月）

午後7時00分～午後8時54分

場 所：天王寺区役所 3階 講堂

出席者

（区政会議委員）

家田委員・石川委員・舒委員・立川委員・寺岡委員・橋本委員・三輪委員・石野委員

植田委員・大野委員・岡崎委員・児玉委員・飛田委員・平田委員・余部委員

飯田委員・藤井委員・安田委員・栗谷委員・櫻井委員・佐藤委員・佐野委員

白井委員・泰地委員

出席24人／定数34人

（市会議員）

金子議員

（天王寺区役所）

加藤区長・高野副区長・丸谷企画総務課長・武部事業戦略担当課長

北吉市民協働課長・渡邊教育文化担当課長・樋上窓口サービス課長

大島保健福祉課長・南野保健・生活支援担当課長

寺戸子育て支援担当課長兼教育委員会事務局総務部天王寺区教育担当課長

尾古貴企画総務課長代理・住田地域活動支援担当課長代理・羽根安全まちづくり担当
課長代理

近藤教育文化担当課長代理兼教育委員会事務局総務部教育政策課天王寺区教育担当課
長代理

橋本保険年金担当課長代理

高橋（幸子）福祉担当課長代理・森本子育て支援担当課長代理

高橋（典良）保健・生活支援担当課長代理

辰巳企画総務課担当係長・関口企画総務課担当係長・岡本企画総務課担当係長

○武部事業戦略担当課長

今日は、皆様月曜日のお忙しい時間帯にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。
ございます。

まだお見えになっておられない方もいらっしゃいますが、定刻になりましたので、
ただいまより令和4年度第1回天王寺区区政会議を開催させていただきます。

私は、天王寺区役所事業戦略担当課長の武部でございます。どうぞよろしくお願
いいたします。

それでは、座って進行させていただきます。失礼します。

まず、お配りしております資料につきまして、配付目録とのご確認をお願いいたし
ます。事前にお送りしました資料を本日お持ちでない方がいらっしゃいましたら、手
を挙げて教えていただけますでしょうか。

本日、ご出席の委員の皆様につきましては、配付目録で言いますと、資料1、区政
会議委員名簿のとおりでございます。個別のご紹介につきましては割愛させていた
きますので、よろしくお願いたします。

なお、今現在、お見えになられてない方含めまして、ご欠席の方の名前を読み上げ
させていただきます。

情報発信班では辻本委員、子育て・教育班からは井上委員、地域福祉・健康班では
田中委員、中野委員、長谷川委員、三木委員、南委員、地域社会づくり班では安達委
員、大田垣委員、宮前委員が、ご欠席となっております。

また、本日の区政会議には、お忙しい中、金子議員にもご出席をいただいております。

す。ありがとうございます。金子議員には、本日の議題の最後にご助言、ご意見をいただきますようお願い申し上げます。

なお、足高議員におかれましては、所用によりご欠席となりました。委員の皆様には、くれぐれもよろしくお伝えするようお願いしておりますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、ここにおります区役所職員のうち、今年度4月1日付で異動がありました者についてご報告いたします。その場で起立させていただきますので、よろしくお願いいたします。

子育て支援担当課長兼教育委員会事務局総務部天王寺区教育担当課長、寺戸でございます。

○寺戸子育て支援担当課長兼教育委員会事務局総務部天王寺区教育担当課長

寺戸です。よろしくお願い致します。

○武部事業戦略担当課長

市民協働課教育文化担当課長代理兼教育委員会事務局総務部教育政策課天王寺区教育担当課長代理、近藤でございます。

○近藤教育文化担当課長代理兼教育委員会事務局総務部教育政策課天王寺区教育担当課長代理

近藤です。どうぞよろしくお願いいたします。

○武部事業戦略担当課長

なお、本会議は公開となっております。会場内のカメラ撮影は、議事の全てを対象とさせていただきますことをご了承願います。

また、本日の会議は、後ろのほうの席ですけれども、傍聴の方がお見えです。本会議は、分科会形式で進行してまいります。各班での審議の際、傍聴者の方は各会議室に分かれますが、そちらのほうを回って傍聴いただいて差し支えありませんが、傍聴要領を遵守していただきますようお願い致します。

なお、本日の区政会議の様子を後日広報紙等に掲載いたしますので、会議中何枚か写真を撮らせていただきますことをご了承いただきますようお願いいたします。

本会議におきましては、職員からの説明は端的に簡潔に心をかけさせていただき、できるだけ委員の皆様のご意見をお聞かせいただきたいと考えていますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

それでは、次第に戻らせていただきます。

加藤区長よりご挨拶申し上げます。

○加藤区長

皆さん、こんばんは。天王寺区長の加藤でございます。

今日は、大変お忙しい中、区政会議にご出席いただきまして誠にありがとうございます。また、日頃から区政運営の各般にわたりまして、ご理解、お力添えを賜っておりますことを、改めてお礼を申し上げる次第でございます。ありがとうございます。

今回、区政会議を開催するに当たりまして、新型コロナウイルスの感染状況というものが影響するんじゃないかとちょっと心配をしておりましたけれども、少しずつではありますけれども、減少している状況にあります。ですが、まだまだ高水準にございますので、皆様方におかれましても本日も恐縮ですけれども、感染対策にはご協力をお願いしたいと思います。

そうした中で、このようにお集まりをいただいて、直接皆様方からご意見を頂戴できる、こういう機会を設けることができましたこと、非常に貴重な場というふうに実感をしておる次第でございます。

今日は様々な観点でご意見を頂戴しますけれども、区役所の事業、いろいろと課題もございまして。様々なお立場から厳しいご意見も含めまして、多様なご意見をいただいてまいりたいというふうに思っております。いただいたご意見はしっかりと受け止めてさせていただいて、今後の区政に活かしてまいる所存でございますので、どうぞよろしくお願いいたします。

3年後、2025年には大阪・関西万博も開催されます。世界内外から非常に注目を集め、さらなる発展も期待されるところでございます。天王寺区といたしましても、着実に区政を発展させてまいりたいというふうに考えてございますので、引き続きのご理解、ご支援を賜りますようお願いを申し上げます、簡単ではございますけれどもご挨拶とさせていただきます。本日は、どうぞよろしくお願い申し上げます。

○武部事業戦略担当課長

続きまして、櫻井議長よりご挨拶をいただきます。

櫻井議長、お願いいたします。

○櫻井議長

ただいま、ご紹介いただきました櫻井でございます。

本日は、本当にお暑い中、ご出席いただきましてありがとうございます。本日も活発な議論とともに、建設的な意見、素晴らしいアイデアを出されることを期待しております。そして区役所は、区政会議での議論を踏まえ、これまで以上に、よりよい取組を進めていただきたいと思いますと考えております。最後まで、ひとつよろしくお願い申し上げます。

○武部事業戦略担当課長

櫻井議長、ありがとうございました。

それでは、ここからの議事進行については、植田副議長にお願いしたいと思います。

植田副議長、よろしくお願いいたします。

○植田副議長

恐れ入ります。議事進行を仰せつかりました植田でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

それでは、本日は皆様方のご協力の下、会議が有意義なものとなりますよう進めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

じゃあ、ちょっと座らせていただきます。

まず初めに、事業戦略担当課長より、本日の流れをご説明いただきます。

○武部事業戦略担当課長

本日の議題は、「令和3年度天王寺区運営方針の実績・評価について」及び「今後取り組む事業」ですが、この2つの議題を一括して取り扱うことといたします。議題について、まず加藤区長より、議題1「令和3年度天王寺区運営方針の実績・評価について」を説明の後、議題1、2、あわせての審議に移っていただきます。

本日は、分科会形式による各班でのご審議をお願いします。班ごとに担当するテーマ・経営課題を中心に、8時20分頃まで各班でご議論いただき、その後、各班で出された意見等を報告、全体で共有いたします。司会・進行につきましては、これまでと同様に各施策・事業を所管する課長・課長代理が担当させていただきます。議題につきましては、8時40分頃に終了し、引き続き区長から一言申し上げます。

最後に、金子議員よりご助言、ご意見をいただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

また、本日お帰りの際には、事前にお送りしております「区政会議委員評価シート」をご記入の上、事務局にお渡しください。

流れの説明は以上でございます。

○植田副議長

それでは、議題1について、加藤区長より資料2「令和3年度天王寺区運営方針の実績・評価及び課題について」の4、5ページ、「自己評価結果の総括」について説明をお願いしたいと思います。

なお、その他の資料については説明を予定いたしておりません。ですが、議題の討議においての資料を参考にしていただければと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、加藤区長よりお願いいたします。

○加藤区長

それでは、私のほうから、資料2「令和3年度天王寺区運営方針の実績・評価及び

課題について」の4ページ、5ページにつきまして、簡潔にご説明をさせていただきたいと思っております。

まず、4ページですけれども、自己評価結果の総括・概要ということで、1年間の取組・成果と今後取り組みたいことということで、5点ほど掲げております。

1点目といたしまして、今日のこの区政会議の場ですとか区民モニターといった手法を活用しまして、区民の皆様の意見を積極的に聴取し、施策等への反映に努めてまいったところでございます。

2点目は、待機児童対策です。令和3年度、昨年度も新たに保育所2か所、新設をいたしております。こういったことも含めまして、令和2年4月から今年の令和4年4月時点におきましても、引き続き待機児童ゼロの状況を実現しております。

3点目は、子育て支援策についてであります。この2年間ほど、子育て支援体制ということで、相談体制の強化をしてまいりました。そうした中で、対応件数も増加しております。様々な要因に起因する多様な課題、こうしたものへの対応が必要となってきたと認識をしているところであります。

様々な要因がございますけれども、そういったものを解消する施策を実施していく必要があると。そういった意味では、これまで当区で実施してまいりました支援策で果たして十分なのかといった観点から、引き続き検討をしております。この区政会議の前の区政会議の班別討議の中でご議論いただきました「子育てスタート応援事業」、これも含めまして子育て支援策については、一定の再構築が必要ではないかというふうに考えているところでございます。

本日もそれぞれの班別の審議入っていただく中で、ご意見をいただきたいというふうに思っております。

4点目は、防災対策です。昨年度まで専門のスタッフを配置しております。個別にマンションへの働きかけを強化し、自主防災組織の新規構築を支援するなど、マンションにおける防災対策を進めてまいりました。

5点目は、歴史・文化についてでありますけれども、昨年度も没後1400年に当たるといふことで、聖徳太子ウオークを開催するなど、引き続き、区の魅力の発信に積極的に努めてまいったところでございます。こうした点につきましては、しっかりと引き続き、取組を進めてまいりたいと考えてございます。

次に、5ページですけれども、解決すべき課題と今後の改善方向ということで記載をしております。高齢者、要援護者の増加が見込まれる中であって、上町断層帯を抱える当区におきましては、引き続き、区民の安全・安心の確保が最重要課題というふうに認識をいたしております。各種取組を行っておりますけれども、家庭での日頃からの備え、自助を示す指標、具体的にいいますと、非常準備品を用意しているかとか、あるいは家具の転倒対策を実施しているかといった指標については、目標を大きく下回っております。4年前には大阪府北部地震がございましたけれども、まだ記憶に新しい今のうちに、こうした点にも引き続き注力して取り組むことが必要と考えております。

それから、高齢者をはじめとした要援護者等の見守りや、支援体制の構築を通じまして、緊急時に地域の皆さんで助け合える共助の促進にもしっかりと取り組みますとともに、先ほども少し触れましたけれども、課題を抱える子供たち、またはそのご家庭の支援について、しっかりと進めていく必要があるというふうに考えてございます。

こうした地域の力を結集して防災力向上に取り組むとともに、マンションや協力企業などとの連携も併せて進めまして、誰もが安心して暮らせる、住みたい天王寺区を目指してまいりたいと考えてございます。こうした取組、積極的に今後引き続き進めてまいりたいと考えてございますので、どうぞよろしくお願いを申し上げます。

私からの説明は以上ですけれども、これから各班において班別でご討議をいただきますけれども、少し区としての課題なんかもお示ししながら、簡潔にですけれども、ご議論、ご意見いただきたいと思っておりますので、どうぞ忌憚のないご意見をいただきますように、よろしくお願いを申し上げます。私からは以上です。ありがとうございます。

す。

○植田副議長

どうもありがとうございます。

ここからは、班ごとの審議に移ってまいります。金子議員につきましては、よろしければ、いずれかの班、または順次各班を回っていただき、意見の交換の様子をご覧ください。

それでは、各班で審議の進行をよろしくお願い申し上げます。

○武部事業戦略担当課長

それでは、事務的なことをこれからご説明させていただきます。

これから班ごとに、担当者が班別でお話しいただきます会議室のほうへご案内させていただきますので、ついて行っていただきますようお願いいたします。

地域社会づくり班は、この場で、講堂でお願いいたします。子育て・教育班につきましては、5階のほうに移動していただきます。情報発信班につきましても、同じく5階ですが、5階の502会議室のほうにお願いいたします。地域福祉・健康班の皆さまは、2階の201会議室のほうに移動をお願いいたします。各班、8時20分までに取りまとめも含めましてご議論いただきまして、この場には8時25分にお戻りいただきますよう、よろしくお願いいたします。

それでは、移動のほう、よろしくお願いいたします。

(分科会討議)

○武部事業戦略担当課長

それでは、後半進めていきたいと思っております。

各班で出ました意見について、記録係の方よりご報告をお願いいたします。

○子育て・教育班記録係（尾古貴課長代理）

では、まず子育て・教育班よりご報告申し上げます。

子育て・教育班では、子育て家庭への支援の在り方についての議論をみんなでさせていただきました。まず、大変厳しいご意見をいただいたのは、大野委員、石野委員、児玉委員から、まず大野委員、石野委員は、主任児童委員をされてらっしゃるんですけども、そういった児童委員たちに地域を回って訪問しているけれども、そういう独り親家庭だとか発達障がいの児童の情報が全然入ってきていない、児玉委員にしては、学校登校の見守りもやっていたいっているのですけれども、地域にも誰がどういう家庭状況の話とか情報が入ってきていないという、まずは厳しいご意見をいただきまして、そこから、いろんなそういった子供たちを見守るための情報を地域やそういった児童委員たちに下ろしていく必要があるのではないか、そうすれば地域としても対応できることがあるかもしれないというご意見をいただいております。

そのあと、岡崎委員からは、役所の施策だけでは無理があるのではないかと、もっと地域にもそういった情報を下ろしながら、それから浪速区で行っているラインでの情報発信、または、家庭同士のやり取りでつながりづくりをつくっていくことも解決の一つになっていくのではないかとということをご指摘いただいております。

あと、平田委員からは、月1回、平田委員の活動として、おやつクラブというのをされてらっしゃるのですけれども、区民センターでおやつを配っていると。そこで、子供たちが30人ぐらい、子供たちだけじゃなくてその親御さんもそうですけども来てくれると、そこでその人の状況が分かることがあると、こういったコロナの状況で集まりにくいけれども、一つ一つそういうことをしていくことが大事ではないかというところのご意見をいただきました。

そういった地域での活動、その他小さなことでもいいから、広報紙でもっと取り上げて紹介していくことも、それを広げていく輪になっていくんじゃないかということで、広報紙でもっとどんどん取り上げてほしいというご意見が大野委員からいただきました。

飛田委員から、発達障がいのあるお子さんの親御さんが地域の行事に来るのを気にしてしまって、なかなか出てこられないというところを、何とか来てもらうっていう方法を考えていかないといけないのかなということでご意見をいただいております。

簡単、雑駁ではございますが、子育て・教育班からの報告です。以上です。

○地域社会づくり班記録係（関口係長）

それでは、地域社会づくり班から、議論の内容を共有させていただきます。

災害時の要支援者について中心に話していただいたのですけれども、栗谷委員から、例えば要支援者の既往歴とか普段の薬、そういったものを書いてもらえるようにすればということで、様式へのご指摘がありました。

あるいは世代が違い過ぎると、コミュニケーションの機会がなかなかないということで、例えば元気な70歳が80歳、90歳を助けるとか、そういった形も考えてもよいのではないかと、9月は敬老の日もあるということで、そこに引っかけて高齢者にフォーカスした訓練というのがあるけれどもよいのかな、避難訓練とかそういったことがあってもよいのかなというご意見でした。

また、災害が少ない土地柄っていうところもあって、危機感のある人が少ない印象だというような所感も言っていただきました。

佐藤委員からはワンルームマンションですね、ワンルームのアパート等には独居の老人も多いというところ、独居で町会も入らない、そういった方が増えているというところで、そういった方については、つながりがなくて支援の網から漏れやすいのではないかとご指摘がありました。

次に、佐野委員から、今後、要支援者というのは増えていく傾向にあるのではというご指摘をいただいた上で、賃貸マンションというのは特につながりが薄い、要支援者の把握がより難しいというところではないかというところでした。

また、支援者の面ですけど、若い方にももちろん支援者になってほしいのですけれども、半面、町会の担い手の高齢化っていうのは問題になってきているというご指摘で

す。あるいは、子供さんの面から、私立に子供さんが通っているっていう場合ですと、なかなか地元とつながりが弱くなる傾向にあるのではないか、あるいは、コロナウイルスによる活動の制限とか、そういったこともちょっとつながりが薄くなりやすくなっている原因にあるというところでご指摘いただいております。

泰地委員からのご意見で要支援の介護が必要な方っていうのを、情報を集積するのもよいことではないか、例えば、介護事業者さんとかから、より具体的な必要な介護の情報を持っているのではというご指摘ですね。あと、支援者になる若い人、支援者になるというのは若い人の義務だという打ち出し方、役所からの打ち出し方、そういったこともよいのではというご意見をいただきました。

最後、櫻井委員からのご意見で、地域の中での普段からの関係性、そういったことができていることもすごく大切なのではないかと、ただ、地域性にもよりますので、文書で一律にしてできるものではないというご意見もいただいております。つながりがあれば、防災・防犯の面でも、救われること、助かることも多いのではないかと、とご意見をいただいております。

地域社会づくり班からは以上でございます。

○情報発信班記録係（辰巳係長）

続きますして、情報発信班です。

情報発信班の課題といたしましては、新しいツールを活用した天王寺区の歴史的・文化的資産を活かした区の魅力の発信についてという課題につきまして、委員の皆様からご意見を頂戴いたしましたので、ご報告いたします。

まず委員の皆様、総じた意見といたしましては、デジタル社会でありますけれども、紙は紙のよさがあるということで、例えばインターネットなどで情報を取れない方に対しては、そういう紙ベースの充実っていうことは必要ではないのかというご意見をいただきました。デジタルと紙のよいところがあるので、両方の充実が重要ではないのかというような意見をいただいております。

続きまして、三輪委員から、行政と商店街との協働の発信といったものが必要ではないのか、行政単体というよりかは地元と一緒にそういった発信を行うってということが重要ではないのかというところです。

あとは、回覧板の内容の充実も重要ではないかというご意見を頂戴いたしました。

また、天王寺区だけで考えるのではなくて、4つ、5つの区で考えるのもいいのではないかというようなご意見も頂戴しております。

あと、橋本委員からですが、24区で最も住みたい町、住民にも魅力を知ってもらいたいということで、民間とのコラボなども考える必要があるのではないかというご意見を頂戴しております。

続きまして、舒委員からですが、継続的に行政からに限らず観光協会などからでもいいので、ウェブ等、インターネットなどによる発信が効果的ではないか、また、専門の人による発信が必要であり、また頻繁な更新が必要ではないかというご意見を頂戴しております。

また、1分でも2分でも内容としていいので、例えば1つの面白い店や裏通りなどを紹介するといった企画も面白いのではないかということのご意見を頂戴しております。

立川委員からですが、天王寺区の何を発信するかということの目標を決めるべきではないかということをご意見をいただきました。例えば「1500年の都、天王寺」といったような、キャッチフレーズみたいなのを打つっていうものもどうかというご意見をいただきました。

また、英語での発信につきましても、もっと充実させるべきではないかということですか、あと、寺社仏閣などとのコラボも、考えていくべきではないかというご意見を頂戴しております。

また、高校生などに対して、周遊マップなどの配付をするなどのそういった取組も、検討するのもどうかというようなご意見をいただいております。

情報発信班としては以上となります。

○地域福祉・健康班記録係（岡本係長）

地域福祉・健康班のほうから、資料2の「令和3年度天王寺区運営方針の実績・評価及び課題について」の9ページ、10ページ、11ページについて検討させていただいた結果、委員からのご意見をお伝えさせていただきます。

見守り事業の認知度に関しまして、余部委員から、広報に関しましては、必要な人に行き渡っていないので、他区では全戸配布もされているということもありますので、広報紙等の全戸配布の見直しもしてみてもどうかというご意見をいただきました。

回覧板におきましては、各家庭で見るであろうから、そういう周知方法もいろいろ検討してほしいというご意見がありました。

見守りサポーター事業に関しまして、白井委員のほうから、一度断った人から、また入りたいと思われている方もいるので、その方のケアをしてほしいというご意見をいただいております。

見守り事業の認知度に関しましては、藤井委員から、マンションにお住まいの方への周知方法を検討してみてもというご意見もいただいております。独居高齢者等見守りサポーター事業、要援護者見守りネットワーク強化事業の件に関しまして、飯田委員から、民生委員、町会、区社協の役割を一本化できないかというご意見もいただいております。

藤井委員から、見守り事業の認知度に関しまして、マンションの問題の高齢者や高齢者と暮らしている家族に対しての周知方法を考え、検討してほしいというご意見をいただいております。

独居高齢者等見守りサポーター事業、要援護者見守りネットワーク強化事業というネーミングも、1つにしてみてもというご意見もいただいております。

安田委員から、がん検診の周知についてですが、働いている人は休みを取りにくいし、また、自分は大丈夫と思われる方もいらっしゃいます。そういう方に受けてもら

える工夫をしてほしいというご意見をいただきました。独居サポーター事業と要援護者ネットワーク事業に関しまして、高齢者でまとめ、障がい者でまとめてみてはどうかというご意見をいただきました。

植田委員より、平成25年に廃止になりました保健医療福祉ネットワークの推進員制度につきまして、その当時の制度がよかった、ただ人材の確保が非常にネックであるというようなご意見をいただいております。

以上が地域福祉・健康班の課題であります。

○植田副議長

大変貴重な意見を皆さんから頂戴しまして、ありがとうございます。議題につきましては、以上で終了させていただきたいと思っております。

ここで、区役所さんのほうに進行をお願いします。

○武部事業戦略担当課長

櫻井議長、植田副議長、ありがとうございます。

それでは、会議全体を通しまして、加藤区長からコメントをお願いします。

○加藤区長

皆さん、長時間にわたりまして、ご審議いただきましてありがとうございます。各班から、たくさんの貴重なご意見を頂戴いたしました。一つ一つにつきましては、改めて私のほうの考え方も整理させていただきながら、見解といいますか、対応の方向性についてはお示しをしたいと思っております。

少しお伺いして気になった点について、少しでもコメントをさせていただくということにさせていただきたいと思っております。

まず、子育て・教育班の中で、ちょっと冒頭に厳しいご意見もいただいておりますが、子供たちの情報がなかなか地元の地域の中に入っていないという、この点については、少し、こどもサポートネットが始まってまだ少し時間も間もないというところもありますので、それぞれの当事者といいますか、参加していただく主体の間でどう

いった共通理解ができるのかといったことも含めて、今後の在り方というのは議論を進めていく必要があるかなと思っておりますけれども、なかなか、ほかの班の中で議論があったのとも関わるのですけれども、支援を求めない方っていうのも一方ではおられたり、あるいは孤立しがちでなかなか情報が届かないっていう方もいらっしゃるのも事実で、そういったいろんな状況がある中でどういうふうにアプローチしていくのかというのは、非常に難しい課題だと区役所の中では認識をしているところです。

もちろん申請、申請というか訴えを起こしていただいて、サポートを欲しいという、求めを示していただければ、しっかりとサポートをさせていただくことになるのですが、そうでない方も先ほどの議論の中で、マンションにお住まいなのでなかなか孤立してしまっているようなお話もありましたけれども、若い世代の中にはあえてそういう生活を好んで、天王寺区内に居を構えておられる方もいらっしゃるとか、いろんな事情もありますので、そこは本当に行政としてもアプローチの仕方に苦慮しているところでもあります。そういった意味では、なかなか共有っていう形はできてないかもしれませんが、皆さん方からの地域からの情報なんかもいただきながら、一緒に取り組んでいく必要があるのかなというふうに思っております。

それから、あと情報発信についていろいろご意見をいただきました。毎回、永遠の課題とっては何ですけれども、行政としても非常に難しいなと感じているところですが、面白いなと思ってお話伺っていたのでは、デジタル社会の中で紙ベースっていうのは重要だっていうお話がありました。私のほうもいろいろ情報発信の仕方を考えていく中で、実は最近少し思っているのが、意外と掲示板を見て来ましてっていう人が実は多かったりとか、デジタル情報っていうのは、なかなかダイレクトにお届けするっていうのは難しい部分もあって、調べたい方がアプローチするみたいなどころはあるのですけれども、広報紙なんかで紙ベースでお渡ししようとする、限られた紙面の中でどれだけの情報を提供するかっていう難しい面もある。大量に渡してもご覧いただけないっていうようなことはあるんですけれども、最近思うのは、本当

にたまたま町を歩いていたら、広報板見たよっていう、そんな形で見つけていただけるっていうようなこともあって、いろんな形の情報発信が今でも重要なのだなというふうに最近は思っているところです。とはいえ、デジタル社会の恩恵を誰の手にも渡していくっていうのも、今の行政の一応役割ではありまして、小さなことからですけども、老人福祉センターさんと一緒にスマホ教室を参画させていただいたりとか、そんな小さなことから始めているところまで、ぜひそういう便利な、ちょっとしたことで便利だっということについては共有いただきながら、そんな難しいところまで習得いただくのは難しいかもしれませんが、こんな簡単に情報にたどり着くのだなというふうなことは、いろんな人に経験をいただきたいなというふうに思っています、まだまだこれからですけども、そういう取組も進めていきたいというふうに思っているところです。

すみません、まとまりのない話で恐縮ですけども、いろんないただいたご意見、真摯に受け止めさせていただきまして、今後の区政運営にも役立ててまいりたいと思っておりますので、どうぞ引き続き、皆様方からのご意見、またご支援もいただければと思います。どうぞよろしく願い申し上げます。本日は、本当にたくさんの貴重なご意見をありがとうございました。

○武部事業戦略担当課長

最後になりますが、本日ご出席の金子議員から一言いただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

○金子議員

皆さん、長時間お疲れさまでした。

いつも区政会議に参加させていただくと、本当に皆さんの熱い天王寺区への思いを聞かせていただき、たくさんのいいご意見、ご助言を聞かせていただいて、ぜひとも私は区役所のほうでも、事業として実現していただきたいなと思うことがいっぱいあります。今日もいろいろお話を聞かせていただいて、先ほど区長もおっしゃっていま

したけれども、本当に永遠のテーマとなってしまっておりますけれども、役所側からの情報発信、やはりどの班の方からも周知がやっぱり足りてない。本当に必要な人に情報が届いてないのでないかっていうような懸念をされていたように思います。恐らくこちらに来られている方々、天王寺区役所LINE、登録はしていただいていると思うのですが、LINEは私も登録させてもらってまして、あそこには本当に私たちが情報を取りにいかなくても定期的に発信してもらえるので、あっ、こんな事業をやっているんだっていうのがすぐにネットで分かるように、デジタル社会でこの情報発信については皆さんに登録していただいて、ぜひともキャッチしていただきたいなと思うのと、あと一方で、やはり紙媒体での情報発信が重要だということもたくさんのお話でもありまして、やはり今は高齢者の方々、なかなかデジタル発信に追いついていけないという方もいらっしゃると思いますので、今までどおりきちっと紙媒体でも皆さんに届けていただくということ、今、区役所のほうではやられていると思いますけれども、もっともっと皆さんに足りてないと思われるところは、どんどん情報発信していってもらいたいなと思っております。

最後に、回覧板で広報紙を回したらどうだっていうご意見をお聞きしていただいていたのですが、他区ではやっているところもあると思うのですね。ぜひとも、これは区役所側も真摯に受け止めて、できないかどうかご検討いただきたいなと思うところがあります。

それでは、皆さん、本日も長時間お疲れさまでした。ありがとうございました。

○武部事業戦略担当課長

金子議員、ありがとうございました。

櫻井議長、植田副議長、また、本日ご参加の委員の皆様、多くの貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、令和4年度第1回天王寺区区政会議を終了させていただきます。

お帰りの際、区政会議委員評価シートを受付担当者にお渡しください。本日は、ありがとうございました。